

公開講演会 最新化学談話シリーズ

令和4年度 第7回談話会

合成ポリマーを用いた生体高分子操作

丸山 厚 教授 (東工大・生命理工学院)

主催 九州大学理学部化学教室談話会

日時：令和4年12月22日(木) 午後4時30分より

場所：B315 講義室

内容:タンパク質、ペプチド、核酸など生体分子は、その固有の高次構造形成や分子組織化により機能を発現する。生体内では、生体分子の正しい構造形成(折りたたみ)や分子組織化を促すタンパク質が存在し、分子シャペロンと呼ばれている。分子シャペロンの機能を人工的な材料で再現する人工シャペロンの研究も進められ、医薬、再生医療や診断を含め生命工学分野に広くその有用性が示されてきた。本講演では、高分子電解質複合体や感温性高分子で見出された分子シャペロン機能について紹介したい。

(注)この講演は大学院集中講義の一部です。

連絡先：九州大学大学院理学研究院化学部門

(世話人) 安中雅彦 (092)802-4118

(事務局) 化学部門等事務室：TEL (092)802-4125